

年号	下郷町のできごと	世の中のできごと
明治13年 (1880)	○ 楯原小学校が豊成小学校、倉谷小学校が 栄富小学校と校名を改めた。	○ 福島県の小学校の就学率が、45.6 パーセントになった。
15年 (1882)		○ 安積そ水が開通した。 ○ 三島通庸が県令(今の知事)に なった。
16年 (1883)	○ 松川小学校南倉沢分教場ができた。 ○ 役場の区画が改正され、栄富に戸長役場 がおかれた。	
17年 (1884)	○ 日光街道(今の国道121号線)が開通し た。 ○ 中妻小学校ができた。	
18年 (1885)		○ 内閣の制度ができた。
19年 (1886)	○ 音金分教場の仮校舎ができた。	○ 帝国大学令、小学校令、中学校 令、師範学校令が公布された。 ○ 義務教育が4年になった。
20年 (1887)	○ 大内小学校、音金小学校、戸赤小学校、 塩生小学校ができた。 ○ 松川小学校は塩生小学校の分教室となった。	○ 東京に初めて電灯がついた。 ○ このころから、各地で運動会が ひらかれるようになった。
21年 (1888)		○ 磐梯山が噴火した。
22年 (1889)	○ 町村制が実施され、楯原、旭田、長江、 二川の四つの村ができた。	○ 大日本帝国憲法が公布された。
23年 (1890)	○ 学区が改正された。 ○ 旭田小学校ができ、中妻、大松川、南倉 沢、音金、落合が分教室となった。 ○ 楯原小学校ができ、豊成、戸赤、大内が 分教室となった。	○ 第1回の帝国議会がひらかれた。
26年 (1893)	○ 栄富小学校が新築された。	○ 吾妻山が噴火した。 ○ 「君が代」が国歌になった。
27年 (1894)		○ 日清戦争が始まった。
29年 (1896)	○ 大内分教室が新築された。	○ 田島が町となった。